

# 第3次恵那市地域計画

自治区名

明智 地域自治区

## 【地域の現状】

明智町は、豊かな自然、明知城や日本大正村といった歴史・文化資源を有する地域であり、住民同士の協力体制も強く、地域イベントの成功に向けた結束力があります。近年では、若者世代による地域活動の芽も見られ始めており、地域の未来に向けた新たな動きが少しづつ生まれています。しかし、人口減少と高齢化が急速に進行しており、平成17年（2005年）の6,719人から令和7年（2025年）には4,493人まで減少。空き家や耕作放棄地の増加、学校統合による教育環境の変化、地域経済の衰退などが深刻な課題となっています。若者の流出により地域活動の担い手が不足し、イベントや行事の継続が困難になるほか、地域コミュニティの活力も低下しています。観光面では、地域資源の活用が不十分で、観光客数の減少が続いている。観光による収益の地域内循環も弱く、持続可能な観光振興の仕組みづくりが求められています。交通インフラの整備も遅れており、豊田市方面との道路接続、明知鉄道の利活用、リニア中央新幹線との連携など、広域的なアクセス改善が必要です。これらは移住促進や地域経済の活性化にも直結する重要な要素です。また、子育て・福祉環境の充実、防災・防犯意識の向上、地域助け合いの仕組みづくりなど、安心して暮らせるまちづくりに向けた支援体制の強化も求められています。地域の誇りや魅力を次世代に継承するためには、学校との連携による地域教育の充実、歴史・文化・伝統芸能の学びの場の整備、体験型観光の推進などが必要です。これらの課題に対し、地域全体が協力し、若者世代の参画を促進しながら、持続可能で魅力あるまちづくりを進めていくことが求められています。

## 【キャッチフレーズ】

「活気と笑顔があふれる 安心なまち」  
～自然の中で大正ロマン、戦国ロマン薫るノスタルジア～

## 【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

明智町が目指す地域の姿は、「人が集い、世代を超えて交流し、安心して暮らし続けられる、活気と誇り、そして笑顔のあふれるまち」です。この実現に向けて、地域の歴史・文化・自然環境といった資源を最大限に活かしながら、若者から高齢者までが共に支え合い、誰もが参画できる持続可能な地域づくりを進めます。特に、国指定史跡を目指している明知城跡や日本大正村などの魅力を再発見・発信し、観光と移住促進を両立させることで、地域の活性化を図ります。また、子育て世代や若者が安心して暮らせる環境整備を進め、空き家の利活用を通じて住環境の質を高め、町内外の子育て世代や若者が安心して暮らせる環境整備を進めることで、人口増加につなげます。

交通インフラの整備や近隣地域との連携を強化し、広域的なアクセス性を向上させることで、地域の経済基盤を支えます。

地域住民一人ひとりが主役となり、世代や立場を超えて協力し合える仕組みを築くことで、地域コミュニティの再生と持続的な発展を目指します。失敗を恐れず挑戦できる風土を育み、柔軟で開かれたまちづくりを推進します。そして、日々の暮らしの中に笑顔があふれ、住民同士が温かくつながるまちを目指します。

## 【計画の視点】

本計画は、SDGs の理念「誰一人取り残さない持続可能なまちづくり」を基本に、すべての世代が安心して暮らし、笑顔でつながる持続可能な明智町を目指します。

## 【計画の柱(基本目標)】

### 1. 賑わいと活気、そして若者が活躍するまち

交流人口や関係人口の増加を目的に、地域の魅力を高め、賑わいと活力のあるまちづくりを進めます。若者が主体的に地域づくりに関わることで、持続可能な地域力の向上を図ります。そのために、明知城や明智光秀生誕之地（※1）、日本大正村などの地域資源を活かしたイベントや観光企画の充実、明智のファンの拡大、SNS やデジタルツールの活用、柔軟な役割分担による若者の参加促進、交流の場の整備、近隣地域との連携による広域的な取り組みを展開し、地域の魅力とつながりを次世代へと継承していきます。

### 2. 安心していつまでも住み続けられるまち

すべての世代が安心して暮らせるよう、子育て支援や高齢者福祉、防災・防犯対策を充実させ、地域の助け合いを促進します。また、住民一人ひとりができることから関わり、声をかけ合い、支え合うことで、誰もが住み続けたいと思えるまちを共につくっていきます。

### 3. 郷土の魅力と誇りを次世代へ

明智町の歴史・文化・自然などの魅力を再発見し、地域の誇りとして次世代へ継承します。地域行事や伝統の継承、体験や学びの場づくりを通じて、子どもたちが郷土に関心を持ち、愛着を育めるまちを住民みんなでつくっていきます。

## 【基本施策】

### 1. 賑わいと活気、そして若者が活躍するまち

#### （1）人口減少対策としての空き家・空き地の活用

地域内の空き家・空き地を、農泊やカフェ、農業体験などに活用することで、地域資源を生かした新たな賑わいを創出します。特に空き家・空き地が多い本町通周辺では、かつての賑わいの復活に向けて、整備・活用を進めていきます。あわせて、在宅ワークの推進や企業誘致により働く場を確保し、定住の促進を図ります。さらに、子育て支援や住環境の整備、地域交流の充実を通じて、移住者が「住みたい・住み続けたい」と思える魅力ある町づくりを目指します。

#### （2）観光資源の活用と魅力発信

日本大正村や明智光秀生誕之地（※1）など、地域の歴史文化資源を活かした観光振興を図ります。特に、明知城についてはその歴史的価値を再評価し、国指定史跡の登録を目指すことで、地域の誇りと観光資源としての魅力を高めます。八王子神社祭礼やぎおん祭りなど、地域に根ざした伝統行事も積極的に発信し、来訪者の増加と地域の賑わい創出につなげます。

### (3) 地域団体の連携強化

「日本大正村」「恵那市観光協会明智支部」「明知鉄道」「恵那市恵南商工会明智地域委員会」など、町内の主要団体が連携し、観光事業や地域イベントの推進体制を整備。住民と来訪者の交流を促進し、まちの活性化を図ります。

### (4) 地域力を高めるイベント展開と交流の場づくり

地域の特色を活かしたイベントを通じて、住民と観光客の交流を促進し、地域団体の連携を強化します。イベントの目的や内容を見直し、簡素化・集約することで、魅力的で持続可能な取り組みへと進化させます。さらに、地域おこし協力隊や明智出身者など外部の視点を積極的に取り入れ、新たな価値観やアイデアを導入します。住民が主体的に楽しみながら関われる運営体制を構築し、柔軟かつ世代を超えた協力のもと、地域力と一体感の向上を目指します。

### (5) 交通・情報インフラの整備

地域の活性化と若者の定着には、交通・情報インフラの整備が不可欠です。特に豊田市やリニア岐阜県駅とのアクセス改善は、広域的な人の流れを生み出す鍵となります。これらの整備については、市や県に対して情報提供や要望活動を継続します。また、市が検討しているSL復元事業を通じて、明知鉄道の魅力を高め、新たなまちの魅力として観光振興につながるよう、支援を行います。加えて、地域の重要な交通手段である東濃鉄道明智線の存続に向けて、関係機関と連携しながら支援を行っていきます。

### (6) 若者が活躍できる環境づくり

若者が地域に关心を持ち、主体的にまちづくりに関われるよう、柔軟な参加の仕組みや役割分担の見直しを進めます。若者の発想や行動力を地域活動に活かし、地域の活性化につなげます。

## 2. 安心していつまでも住み続けられるまち

### (1) 子育て世代を応援するまちづくり

地域全体で子育てを支える体制を整え、安心して子どもを育てられる環境をつくります。保育支援の充実や地域イベントの開催に加え、地域学校協働活動と連携し、学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長を支える仕組みを推進します。

### (2) 働く場の確保と働きやすい職場づくり

子育てや介護と両立できる柔軟な働き方を推進し、地域の事業者や団体には働きやすい職場環境の整備や就労支援への協力を呼びかけます。誰もが安心して働く環境づくりを、地域全体で取り組みます。

### (3) 地域福祉の推進と連携強化

地域福祉の充実に向けて、明知地域福祉計画と恵那市社会福祉協議会明智支部との連携を強化します。地域の実情に即した福祉活動を展開し、住民の支え合いや見守り体制の構築を進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指します。

#### (4) 防災・防犯体制の整備

自主防災組織の育成と活動支援を行い、地域の防災力を高めます。避難行動要支援者を把握し、災害時の支援体制を整備します。消防団や日赤奉仕団の継続支援と若手育成も推進し、地域の安全を守る人材を育てます。

#### (5) 地域の安全・安心な交通の確保

明智まちなか線やデマンド交通の活用に加え、自動運転などの新技術の導入を進めることで、誰もが移動しやすく、暮らしやすい環境を整えます。高齢者や交通弱者への支援を強化するとともに、市や県と連携した主要道路の整備を要望し、地域内の生活利便性の向上を図ります。

### 3. 郷土の魅力と誇りを次世代へ

#### (1) 郷土に学ぶ

地域の歴史や文化、伝統芸能（歌舞伎・太鼓など）、郷土の偉人「山本芳翠」について、学校教育や市民講座、地域イベントを通じて学ぶ機会を広げます。子どもから大人までが郷土の魅力を再認識し、誇りを持てる環境を整えます。

#### (2) 豊かな自然環境の保全と活用

大正村明智の森や里山などの自然資源を活かした体験型観光を推進し、地域住民と来訪者がともに楽しめる場を創出します。恵那市の景観重要樹木である「下が淵のカエデ」や「遠山桜」「ひとつばたご」「団子杉」など、地域固有の自然の魅力を積極的に情報発信し、保全活動と観光振興の両立を図ります。

#### (3) 歴史的財産の活用と継承

明智町に残る中馬街道・南北街道、明知城跡、すわがみね（諏訪ヶ峰）などの歴史的資源を活かし、地域の魅力を高める取り組みを進めます。これらの文化財や旧街道を活用した観光ルートの整備や、地域住民による案内・ガイド活動の推進を通じて、郷土の歴史を次世代へ伝えるとともに、交流人口の拡大を図ります。

#### (4) 情報発信の充実

住民が主体となって地域の魅力を発信する取り組みを支援します。SNSやホームページ、「あけちだより」などを活用し、町内外に向けて明智町の魅力を継続的に発信します。

#### (5) 子どもたちへの継承

地域の魅力を次世代に伝えるため、学校・家庭・地域が連携した教育活動を推進します。地域学校協働活動やコミュニティスクールの取り組みを通じて、子どもたちが郷土に関心を持ち、将来の担い手として育つ環境を整えます。

(※1) 明智光秀の生誕地には諸説ありますが、岐阜県恵那市明智町では、光秀がこの地で生まれたという伝承が古くから語り継がれています。史料が少ないため確定はできませんが、地域の人々は先祖代々の言い伝えを大切にしており、本計画ではその歴史的背景と地域の思いを尊重し、「明智光秀生誕の地」と表記しています。

## 【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町	地域共生社会の実現
☆山岡町	「よいところ」を活かすまち 特色を活かした交流・関係人口の拡大推進
☆明智町	賑わいと活気、そして若者が活躍するまち 安心していつまでも住み続けられるまち
☆串原	生活の土台を安定させ、「安心して」暮らす 一人ひとりを想定した防災体制をつくる
<u>☆上矢作町</u>	ほかほか安心！豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作
取り組みの内容（概念）	
⑤ドローンを活用した地域活性化事業（防災・観光） (概要)	
屋外ドローンショーを通じて、ドローンの魅力や可能性を地域住民に伝え、技術への理解と関心を高めていきます。また、観光や防災など地域課題への多面的な活用のきっかけを創出します。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町	子育て世代や高齢者への支援
<u>☆山岡町</u>	こどもが健やかに育つまち 地域連携による交流・体験の機会の提供
☆明智町	賑わいと活気、そして若者が活躍するまち
☆串原	お互いに支え合い、「つながり合って」暮らす 若い世代や移住者などの地域活動への参加を促す
<u>☆上矢作町</u>	わくわく楽しい！知恵と技、喜びつなげる ふるさと上矢作
取り組みの内容（概念）	
⑥3×3バスケットでつながる地域事業（スポーツ） (概要)	
3×3バスケットボールを活用し、連携地域住民および周辺地域との多世代交流を促進することで、連携地域の一体感と活性化を図ります。スポーツを通じた世代・地域を越えたつながりの創出により、地域課題の解決と持続可能な地域づくりに寄与します。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<p>☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町</p>	<p>持続可能な観光まちづくりの推進 「よいところ」を活かすまち 地域資源を活かした交流機会の提供 郷土の魅力と誇りを次世代へ 串原の自然や文化とともに「楽しく」暮らす 交流人口や関係人口を増やす きらきら輝く！豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作</p>

#### 取り組みの内容（概念）

##### ◎遠山氏ゆかりの城活用事業（観光）

###### （概要）

岩村城、明知城など「遠山氏ゆかりの城」を連携させ、広域観光コンテンツとして周遊を促進し、地域資源の魅力をより一層高め、ブランディングを強化して、認知度の向上や観光誘客の増加に繋げていきます。

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<p>☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町</p>	<p>持続可能な観光まちづくりの推進 「よいところ」を活かすまち 特色を活かした交流・関係人口の拡大推進 賑わいと活気、そして若者が活躍するまち 串原の自然や文化とともに「楽しく」暮らす 交流人口や関係人口を増やす きらきら輝く！豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作</p>

#### 取り組みの内容（概念）

##### ◎広域観光による地域活性化事業（観光）

###### （概要）

地域の隠れた魅力を再発見し、それぞれが個々の点ではなく、恵南地域が点と点を結ぶ連携をすることにより、恵南地域全体としての魅力づくりや周遊観光することで交流人口の誘致と増加を図り、地域産業の持続的発展を促す。